

「霊長類学・ワイルドライフサイエンス・リーディング大学院」による派遣研究者報告書

(当経費の支援を受けての出張後、必ずご提出ください)

平成 29 年 7 月 28 日	
所属部局・職	野生動物研究センター・修士課程学生
氏名	岡桃子

1. 派遣国・場所 (〇〇国、〇〇地域)
新潟県妙高高原
2. 研究課題名 (〇〇の調査、および〇〇での実験)
笹ヶ峰実習
3. 派遣期間 (本邦出発から帰国まで)
平成 29 年 7 月 18 日 ~ 平成 29 年 7 月 21 日 (4 日間)
4. 主な受入機関及び受入研究者 (〇〇大学〇〇研究所、〇〇博士/〇〇動物園、キュレーター、〇〇氏)
京都大学笹ヶ峰ヒュッテ
5. 所期の目的の遂行状況及び成果 (研究内容、調査等実施の状況とその成果：長さ自由)
写真(必ず1枚以上挿入すること。広報資料のため公開可のもの)の説明は、個々の写真の直下に入れること。 別途、英語の報告書を作成すること。これは簡約版で短くてけっこうです。
7/18 京都→笹ヶ峰ヒュッテ移動(電車) 実習ガイダンス、ヒュッテ周辺の散策 7/19 涸沢踏査、トクサ沢踏査、登山コース確認 7/20 火打山登山 7/21 ロープワーク講習、ビバーク講習、清掃 笹ヶ峰ヒュッテ→京都移動(電車)
本実習では妙高高原にある京都大学笹ヶ峰ヒュッテに宿泊し、フィールドワークに必要な様々な基礎知識を学び、自然を楽しむことを目的として行われた。以下に私がこの実習を通して感じたこと、学んだことを記したい。
まず初日はヒュッテ到着後、ヒュッテ周辺を軽く散策した。京都では考えられないような心地よい気候で、本実習中メインで指導して下さった杉山先生による植物や環境の解説を聞きながら歩いた。

写真1 杉山先生による解説を聞きながら散策 季節や天候による変化の様子も教えていただいた

「霊長類学・ワイルドライフサイエンス・リーディング大学院」による派遣研究者報告書

(当経費の支援を受けての出張後、必ずご提出ください)

2 日目は地図を見ながら午前は涸沢、午後はトクサ沢を踏査した。道のない山を歩く時の注意点（目印となる地形や木を覚えておく、コンパスチェックなど）や、急斜面を上ったり下ったりする際気を付けること（体重をかけてもいいものにつかまる、重心をおとすなど）を聞きながら、道なき道を進んだ。途中、様々な虫や植物を見て、それぞれの特徴や危険の有無なども教えていただいた。夜には次の日に上る登山ルートを地図上で確認しながらコンパスの使い方、地図の読み方を教わった。



写真 2. 山の中を進む



写真 3. 沢で涼む、水はとても冷たかった

3 日目は本実習でメインとなる、火打山登山。朝早くから歩き始めたが、頂上に着いたのは昼頃、ヒュッテに帰ってきたのは夕方になっていた。私は普段フィールドワークをしないので、山を登るのはとてもしんどかった。しかし、他の実習生と話したり先生の話の聞いたり、素敵な景色を眺めながら歩くのは楽しかった。



写真 4. 雪の残る山道を歩く



写真 5. 火打山山頂にて

最終日はヒュッテ内の清掃を行い、山での調査を行う上で必要となるであろうロープワークやビバーク講習をうけた。ロープワークは日常の中でも見えそうな結び方もあり、役に立ちそうだと感じた。ビバーク講習ではツェルトについてはじめて聞き、その使い方を実際に張りながら学んだ。



写真 6.
ビバーク講習にてツェルトの使い方を学ぶ

「霊長類学・ワイルドライフサイエンス・リーディング大学院」による派遣研究者報告書

(当経費の支援を受けての出張後、必ずご提出ください)

6. その他 (特記事項など)

本実習は、PWS より支援を受け行いました、ありがとうございました。指導していただいた松沢先生、幸島先生、杉山先生、滝沢さんに心より感謝申し上げます。